

## 「私のでんきの夢」

独立行政法人鈴鹿工業高等専門学校  
電子情報工学科一年 大川 晴

私は高専で電気回路や制御の知識、プログラミングの技術を学んでいます。こういった技術はスマートフォンなどに用いられ、生活に欠かせないものとなっています。私はそれらを学んでいくうちに生活を支えているのは電気であると再確認しました。

近年は火力発電で発生する二酸化炭素が地球温暖化の原因として問題視されていますが、自分の部屋を見回してみると、電灯にエアコン、ストーブに時計、鉛筆削りなど多くの物が電気で動きます。もし電気が無くなったら生きていけないのではないかと思うほどです。

そこで私は「雷を生活で使う電気に変えられないか」という事を思い付きました。実に子供じみた発想ですが、再生可能エネルギーとして太陽光、風力、地熱が注目される中、雷のあれほどのエネルギーをなぜ活用しないのかが不思議だったのです。映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」の終盤でも、時計台に繋いだ電線から雷の力を得てデロリアンが未来へと戻っていくシーンがあります。あんな具合です。

インターネット「で雷を発電に利用する」と調べてみました。すると私と同じ疑問をもつ人は他にもいたようでその解答は既に出されていました。「強力な電圧に耐えられるキャパシターが存在しない、落雷は一瞬なので大した電力量にならない」との事でした。

再生可能エネルギーだけではどうも限界がありそうです。

エネルギー問題は、環境問題に繋がります。そして環境問題は、私たちの将来への不安に繋がります。問題に対して解決策となるアイデアを皆で出し合っていく事が問題解決において重要であると私は考えます。

見て見ぬ振りでは状況は変わらないどころか悪化していきます。ですから私は人々がエネルギー問題に真摯に向き合う世の中を望みます。そうすることで将来、持続可能な社会が出来上がるはずです。